

機械器具 56 採血又は輸血用器具
管理医療機器 単回使用採血用針 35209002

採血針ホルダー一付

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- 再使用禁止
- 未滅菌の採血管と組み合わせて使用しないこと。
- 採血終了後、採血管に採血針が刺さったままの状態で駆血帯を外さないこと。〔駆血帯を外すことによる圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。〕
- ホルダーは患者ごとの使用とし、使用後は廃棄すること。〔ホルダーに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがあるため。〕

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は採血針とホルダーを接続した採血針タイプと、ルアーアダプタとホルダーを接続したルアーアダプタタイプがある。ルアーアダプタタイプは採血用器具として一般の注射針、又は翼状針等に接続する。なお、本品はエチレンオキシドガス滅菌済みである。

ラバースリーブは耐圧性能を有している。

1) 採血針タイプ



2) ルアーアダプタタイプ



2. 材質

針管	ステンレス鋼
----	--------

【使用目的又は効果】

本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。

【使用方法等】

1. 使用方法

- プロテクタ及びホルダー上のシールを剥がします。
- 駆血帯をかけた後に、穿刺部位を消毒します。
- ホルダーを持ち、真っ直ぐ引いてプロテクタを外します。また、ルアーアダプタタイプを用いる場合は他の医療機器と確実に接続します。
- 針管を血管に穿刺します。
- 採血管をホルダーに真っ直ぐ完全に押し込みます。
- 規定量の血液が採れるまで状態を保ちます。
- 採血の血流が停止したら、直ちに採血管をホルダーから外します。
- 連続採血する場合には、ホルダーを固定したまま採血管を取り替えます。
- 採血終了後、採血管をホルダーから抜き、駆血帯を外します。



- 注意して針管を抜き、止血します。
- 使用後のホルダーは感染防止に注意し、そのまま廃棄します。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- 誤って手指等に針を刺さないよう取扱いには十分注意してください。
- プロテクタは真っ直ぐ引いて外してください。〔回して外すと、接続部の緩みや採血針外れ、又はルアーアダプタ外れのおそれがあります。〕
- プロテクタを外す際には接続部の緩みが発生していないことを確認し、緩んでいる場合は締め直してください。また、使用中に接続部の緩みが発生した場合は、本品を新しいものに交換してください。
- 採血針タイプの場合、プロテクタを外すときは針先に当たらないように注意してください。〔針先変形のおそれがあります。針先が変形した場合は、本品を新しいものと交換してください。〕
- リキャップしないでください。〔リキャップ自体に誤穿刺のおそれがあり、また、誤って斜めにリキャップすることで、針先がプロテクタを貫通するおそれがあります。〕

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- キャップ部の外径が17.5mm以上の採血管と本品を組み合わせて使用しないこと。特に他社の太径採血管を使用する場合は、使用の可否について本品の問い合わせ先に確認すること。〔採血管を引き抜くときに採血管のキャップ抜けのおそれがある。〕
- 血液漏れが発生した場合は、針管を抜き、本品及び採血管を新しいものと交換すること。〔針先がラバースリーブの側面部を貫通することで、ラバースリーブが正常に戻らず、血液漏れのおそれがある。〕
- 体外循環回路、又は中心静脈から採血を行わないこと。〔圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。〕
- 本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。〔破損のおそれがある。〕

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。
有効期間：滅菌後3年〔自己認証（自社データ）による〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造

ニプロ医工株式会社

